

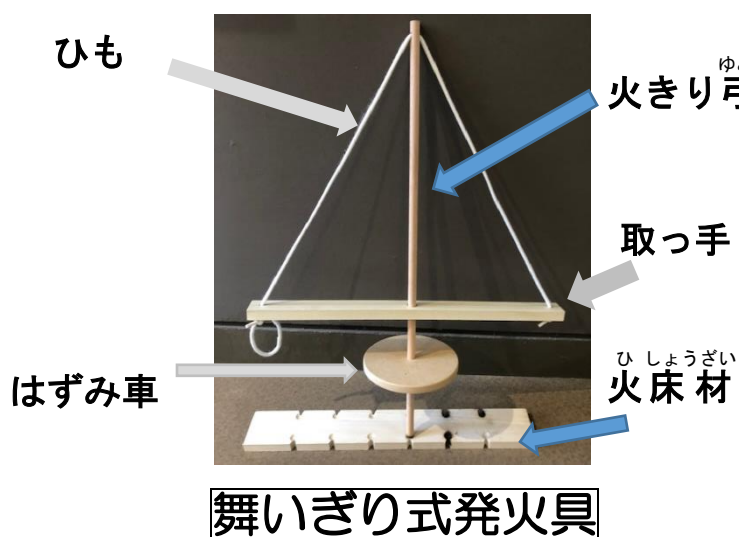
三原市久井歴史民俗資料館 vol.18

モ〜モ〜通信



モ〜すぐ冬！
昔の火おこし ①

火おこしにチャレンジ
こんな道具を使ったよ！



昔から火は、生活にはなくてはならないものでした。マッチやライターのない時代、どのように火を得ていたのでしょうか？原始時代、火はたき火からはじまり、照明のほかに暖房や狩りなどにも利用されました。その後「火きり式」と「火打ち式」という2種類の方法で火をおこすようになりました。今回は、火きり式の中の「舞いぎり式」をご紹介します。

発火の仕方★



① 火床材を固定し、穴の部分に弓の先をあわせる。



② 取っ手をにぎり、上げ下げをくり返して弓を回転させる。



③ まさつ熱で、穴にこげた木のけすり粉（火種^{ひだね}）がたまり、けむりが出ます。



④ 火種をティッシュで包み（昔はうすい木を使用）炎があがれば、火おこし成功！！



火おこしのコツ

2分くらいこするよ！
いきおいよく動かすよ！
けむりがでるとも～すぐ！

舞いぎり式発火は、縄文時代から明治時代ごろまでおこなわれました。木をこすり合わせて生じる、まさつ熱から火をおこしたのですよ！



★発火で気をつけること★

- ・ 火きり弓の回転は速いので危険です。
- ・ やけどや火の取り扱いには十分注意しましょう。
- ・ 必ず大人と一緒にいきましょう。

おしらせ

虫かごの作り方
動画を、三原市公式
YouTube チャンネル
で公開しています！
見てね～



★「モーモー通信」はHPでも★

調べよう！みはらコレナンド？（子ども向け） <https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/50/104083.html>

つづきは資料館で…

〒722-1303
三原市久井町下津 1397
三原市久井歴史民俗資料館
TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合、翌日休館）、年末年始
アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない

